

令和 7 年度使用教科用図書 調査研究報告書

《中学校用教科用図書》

国 語 … P. 1

書 写 … P. 5

社 会 … P. 9

数 学 … P. 30

理 科 … P. 37

音 楽 … P. 42

美 術 … P. 44

技 術 … P. 47

家 庭 … P. 50

保 健 体 育 … P. 53

道 徳 … P. 57

外 国 語（英 語）… P. 64

教科名（ 国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ・「言葉の力を、生きる力に」「国語の授業から広がる未来」「一人一人の学びたいに寄り添う」を編集の基本方針としている。 ・各学年に平和や人権教材を取り上げ、生き方を問い、主体的・対話的な学びを引き出し、心豊かな人間性を培う国語教育として、様々な授業展開に期待がもてる内容である。 ・文学作品、古典作品に中学生として必修させたい名作を掲載するとともに、他者との関係から様々な価値観を感じ取らせ、自己をみつめなおすという、現代中学生に求められる力を培う新教材が採用されている。 ・UDの視点を大切にし、字体、配色、イラストに、特別支援教育、色覚特性、ジェンダーレス、国際化への対応がなされている。 【内容の配列と分量】 ・3年間で「読む・話す・聞く・書く」という基礎力が積みあがるよう配列され、それによって培われる「言葉の力」が学びを深め、よりよい未来を切り開く糧となるよう工夫されている。 ・3年間で系統的、横断的に学べるように教材が配列され、学習を発展させながら、既習の教材とのつながりを考え、学習を深化させることが可能である。 ・授業の導入・活動の手助け・学習の定着など様々な学びのシーンに使い分けができるQRコンテンツが設けられ、「主体的に学びに向かう力」のしかけが豊富である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各学年に「デジタルコンテンツ一覧」を設け、家庭学習や自学自習で扱えるものをマークで明示し、「個別最適な学び」を支える工夫がなされている。 ・読み比べができる教材や情報活用能力をつける教材など「学力向上」を目的としたものを充実させ、全国学力・学習状況調査で課題とされている「文章と図表・資料との対比」、「複数の条件に従って書く」などに対応している。			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	15	発行者名	三省堂
【教科書の特徴】 ・「学び方が分かる」「対話を通して深める」「学びをつなげる」を編集の基本方針としている。 ・「読み方」や「思考の方法」を視覚的に支援できるような思考ツールが多く掲載されている。 ・見開きによる情報のまとまりを重視し、学習中に必要な内容がページにまたがらないように工夫されている。 ・多様なコンテンツが掲載され、補助教材やワークシートなども用意されている。中には、NHK for school のコンテンツも動画で見ることができ、生徒が積極的に家庭学習を進められるようになっている。 【内容の配列と分量】 ・知識および技能を習得する学習と、思考力・判断力・表現力等を育成する学習とが、特定の時期に偏ることなく、バランスよく配置されている。 ・「読むこと」の学びを生かして、次の「書くこと」への学習に繋がられる編集になっている。 ・各教材とも、冒頭に学習目標が提示されており、末尾に振り返る活動が設けられており、見通しを持って学習に取り組むことができるようになっている。 ・各学年の最初の折り込み部分に「深い学び」に向かうための思考ツールが提示されており、系統立てて学べる工夫がされている。 ・巻末の資料には、学習に役立つ資料や発展学習に使う読み物教材が多く掲載されている。 ・全体的に散文教材を多く取り扱っている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領の各学年の目標および内容がもれなく指導できるよう作成されている。 ・情報教材は漫画で生徒たちの興味を引きつけ、資料を用意して考えを深めるようにしている。また、複数の情報を関連づけて読み取り、自分の考えを書くという展開になっている。			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ・「自覚的な学びをいざなう」「確かな言葉の力を育む」「その先の未来に生きる」を編集の基本方針としている。 ・学習しやすいフォントを独自開発したり、発達段階に応じた文字の大きさを使用したりして、誰もが使いやすい教科書を目指し、教材化やデザインに配慮している。 ・「学びリンク」ではデジタル資料での学習を支援している。生徒の主体的な学習に役立つ資料をホームページから利用できる。 【内容の配列と分量】 ・学習内容の明確化、焦点化を図り、学習の見通しをもたせるため、教材ごとに重点的に学ぶ事項を設定し、「目標」「学びナビ」などで見通しを持ち学習するとともに、「振り返り」で自分の学びを確かめ深めるとともに、次の学びにつなげることができる。また、3段階の構成で読みを深められる「みちしるべ」も工夫されている。 ・「読むこと」では、生徒の興味・感心を高められる話題や作者・筆者の多彩な文章を取り上げている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材がバランスよく選定、作成されている。また、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力」を習得し、活用するという形で相互に配置されている。 ・「情報・メディアと表現」の教材を各学年に設け、メディアの特性や扱い方もモラルなどを理解することで、他教科の学習と関連が図れるように配慮されている。 ・SDGsや生徒が日常向き合っている課題を取り上げた教材を置き、他教科の学習と関連が図れるように配慮されている。 ・兵庫に関する内容は、全学年で取り上げられている。			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
【教科書の特徴】 ・「課題解決の力が身につく」「自分らしい学びを見つける」「思考力・表現力が高まる」「心が動く、対話が生まれる」を編集の基本方針としている。 ・UD化を意識した編成を行うことで、特別支援教育、色覚特性、国際化への配慮もなされている。 ・思考を促す図や表が多く、視覚支援を行うことで理解の助けとなっている。 ・「学習の見通しをもとう」に他教科との関連を明記し、カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画が立てられるよう配慮されている。 【内容の配列と分量】 ・課題解決能力を育む仕組みとして、各教材に学びのヒントとなる「学びの扉」を示したことで学習を焦点化できる。また、全領域に「学びのカギ」を設置したことで、学びのつながりが明確になっている。 ・自由に選択できるQRコンテンツが多数収録されており、個別最適な学習に対応している。 ・「言語ブック」を配置することで、語彙力を高める工夫がなされている。 ・説明的な文章では、比較して読むことや多彩な題材を系統立てて配置している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、資質・能力を学ぶ学習過程が焦点化されている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材がバランスよく選定、作成されている。 ・「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」など「情報の扱いに関する事項」について、見開き2ページで開設するコンパクトな教材がもうけられている。的確に理解を促し、論理的思考の形成や表現に生かせるよう、各学年、系統立てて配置されている。 ・ICT機器を使うと効果的な場面では、活用のヒントがアイコンで示されており、分かりやすい。 ・SDGsに関する現代的な内容が、3年間を通して幅広く取りあげられている。 ・兵庫に関する内容は、全学年で取り上げられている。			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社
【教科書の特色】 ・ A B 版 144 ページ 1 ～ 3 年合冊 ・ 毛筆（楷書・行書）硬筆の手本とも、練習教材が豊富である。 ・ 「学習の進め方」については「目標～ふりかえり・日常に生かそう」と順序が明確に示してあり、すっきりと読みやすく、学習の流れが視覚化されている。 ・ E S D、S D G s（②飢餓・⑭海の豊かさ・⑮陸の豊かさ・⑯平和と公平）について興味を促すページが設けられている。多様な表現と兵庫に関する内容が関連している。 ・ 色彩、レイアウトについてはカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントに配慮した色使いやレイアウトになっている。左利きの生徒のための持ち方の動画などの配慮がある。 ・ QR コードが多くあり、運筆以外にもワークシートや他の文字へリンクされている。 ・ 他教科のレポート、手紙の書き方、実社会で活用する「書式の教室」など、生きてはたらく書写力を養うページが設けられている。 ・ 書写で学んだことを活用していく際に、どのような筆記用具を用いることが効果的なのかの記載がある。 【内容の配列と分量】 ・ 1 年生 毛筆手本【楷書 3（半紙大 1、小 2）、行書 5（半紙大 0、小 5）】 硬筆【字形／筆順、楷書と仮名の調和「いろは歌」・行の中心『竹取物語』・文字の配列・行書の特徴】 ・ 2 年生 毛筆手本【楷書 0、行書 4（小 4）】 硬筆【点画の省略、筆順の変化、行書の特徴、行書と仮名の調和（『走れメロス』『枕草子』等）】 ・ 3 年生 毛筆手本【楷書 0、行書（小 1）】 硬筆【配列（『おくの細道』）】 ・ 補充教材集 楷書 3、行書 7 ・ その他 書初め教材：1 年生は P57～60、2・3 年生は巻末に折込式、コラム（文字の変遷、日本建築と「書」など） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 第 1 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 （イ）漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 第 2 学年 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）漢字の行書とそれに調和した似名の書き方を理解して、読みやすく遠く書くこと。 （イ）目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 第 3 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるように対応している。			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版株式会社
【教科書の特徴】 ・ B 5 版 165 ページ 1 ～ 3 年生合冊 運筆については朱書きやQRコードの読み込みによる動画コンテンツで学べるものもある。硬筆の教材として、綴じ込み別冊「書写ブック（硬筆練習帳）」が用意されている。 ・ 色彩・レイアウトについては、カラーユニバーサルデザインを使用し、文字や図表等における色の組み合わせに配慮している。 ・ SDGs、防災に関するページ、データ資料が設けられている。 ・ 多くのページにQRコードがあり、毛筆の筆の進め方だけではなく、手本以外の文字や、行書の解説などのページにつながる。 【内容の配列と分量】 ・ 1 年生の教材 毛筆の手本：（楷書3・行書3）硬筆の手本（教材）：漢字の筆遣い・外形と中心・筆順・点画の組み立て方。部分の組み立て方「竹取物語」「防災かるた」・点画の変化、連続 ・ 2 年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書4）硬筆の手本（教材）：点画の省略・筆順の変化・「平家物語」「走れメロス」 ・ 3 年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書2）硬筆の手本（教材）：書写テストに挑戦しよう「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」「おくのほそ道」・都道府県・年賀状 ・ コラム等 手書きのよさってなんだろう・UD書体って何だろうなど ・ 書き初め教材 全学年巻末に折り込み式 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 第1学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 （イ）漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 第2学年 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）漢字の行書とそれに調和した似名の書き方を理解して、読みやすく遠く書くこと。 （イ）目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 第3学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるように対応している。			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	1 5	発行者名	株式会社 三省堂
【教科書の特徴】 ・ B 5 版 120 ページ 1 ～ 3 年合冊 ・ 色彩・レイアウトについてはユニバーサルデザインに配慮している。識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けている。 ・ SDGs に関する記載はない。 ・ 硬筆のなぞり書きがある。 ・ 書写で得た力を学んだことを活用する方法の記載がある。 ・ QR コードを読み取ると、毛筆手本には書き進める様子、そのほかの部分には学習を進めていく方法のページにつながる。 【内容の配列と分量】 ・ 1 年生 毛筆手本【楷書 3（半紙大 1・小 2）、行書 3（小 3）】 硬筆【字形の整え方、仮名の字形/文字の大きさと配列、点画の丸み】 ・ 2 年生 毛筆手本【楷書 0、行書 4（小 4）】 硬筆【点画の省略／筆順の変化、行書と仮名の調和/行書に調和する仮名】 ・ 3 年生 毛筆手本【楷書 0、行書 1（小 1）】 硬筆【身のまわりの文字】 ・ 資料編 あり P77～102 ・ 二次元コード一覧 P104 ・ 書初め教材：各学年とも巻末に折込式 ・ その他 1 年生【活字と書き文字・筆順、文字の変遷、グループ新聞を作ろう】 2 年生【情報誌を作ろう】 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 第 1 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 （イ）漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 第 2 学年 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）漢字の行書とそれに調和した似名の書き方を理解して、読みやすく遠く書くこと。 （イ）目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 第 3 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるように対応している。			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍出版
【教科書の特徴】 ・ B 5 版 本誌 104 ページ 活用ブック 41 ページ 1 ～ 3 年 ・ 色彩・レイアウトについては、色覚特性に配慮している。 ・ 毛筆の練習量が各学年ともに少なく、注意点についての記述が少ない。 ・ 「書写のかぎ」でポイントを簡潔に表している。 ・ 左利きの生徒への指導のポイントがある。 ・ 防災に関する内容がある。 ・ 「基本の点画の書き方」では、筆の動きを擬音語を用いて説明してある。 ・ 毛筆の手本に半紙大のものがない。 ・ 1 ページの情報量が多い。 ・ テーマごとに毛筆と硬筆を見開きで掲載してある。 【内容の配列と分量】 ・ 1 年生 毛筆手本【楷書 2（小 2）、行書 4（小 4）】 硬筆【点画の書き方と字形の整え方、仮名の書き方と字形、文字の大きさと配列、点画の連続、点画の変化】 ・ 2 年生 毛筆手本【楷書 0、行書 4（小 4）】 硬筆【点画の省略、筆順の変化、行書と仮名の調和、行書に調和する仮名、文字の大きさと配列】 ・ 3 年生 毛筆手本なし 身の回りの文字に触れることや、自分のノートを見直すことなど、1，2 年生で学んだことの活用が中心となっている ・ その他 書初め教材：各学年とも巻末に折込式 ・ 目的別書写活用ブック 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 第 1 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 （イ）漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 第 2 学年 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）漢字の行書とそれに調和した似名の書き方を理解して、読みやすく遠く書くこと。 （イ）目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 第 3 学年 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 （ア）身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるように対応している。			

教科名（ 社会 <地理的分野> ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特色】 ○導入資料で興味・関心を高め、学習課題の提示、まとめようやチェック&トライで振り返るとい う、1時間の学習の流れが見えるよう構成されている。 ○資料の活用やグラフの読み取りに関わる内容が充実している。 ○重要語句の内容が分かりやすく示されている。 【内容の配列と分量】 ○用語解説・さくいんがあるので自主学習がしやすい。 ○さまざまな気候の暮らしのあとに気候帯や雨温図の学習が配列されている。 ○日本の諸地域では、近畿地方・関東地方ともに「人口や都市・村落」についての記載がある。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○単元導入のページでは、興味を引き主体的な学びにつながるよう大きな写真を用い、単元の見通 しが持てるよう整理されている。 ○単元ごとに「地球的課題」について考えさせたり、「思考ツール」を用いてまとめさせたりする内 容が含まれている。 ○環境・防災・人権・伝統・情報など、現代社会の課題について取り上げ、それらの解決に主体的 に取り組むことのできる生徒の育成を図っている。			

教科名（ 社会 <地理的分野> ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ○SDGsに関連する地球的課題や、領土問題を大きく扱うことで、主権者教育に重点を置いている。 ○読みやすくわかりやすい文章で表現されている。 ○社会科3分野がリンクされており、分野を越えて横断的に内容がわかるように明示されている。 【内容の配列と分量】 ○初めに小学校での既習事項の確認ができる。方位や縮尺、地図帳の使い方など、これからの学習に必要な知識・技能を習得しながら学習できる。 ○年間授業時数を考えて編集されており、「1時間＝見開き2ページ」で進めやすい。 ○全体の内容にゆとりがあるため、探究課題などある程度の時間をかけて取り扱いたい内容に重点を置くことができる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○各編・各章の初めにある「とびらページ」や「導入ページ」では、単元を貫く問いが設定されており、これから学習する内容に見通しを持てるように提示されている。 ○本時の振り返りでは、確認（知識技能）と表現に分けられており、課題解決を通しての「地理的な見方考え方」の育成だけでなく、基礎の定着も図られている。 ○領土問題や世界の紛争について、「多面的・多角的」に捉え、生徒自身が主体的に考えられるように扱っている。			

教科名（ 社会 <地理的分野> ）

発行者番号	4 6	発行者名	帝国書院
【教科書の特徴】 ○イラスト地図がとても見やすく、興味関心を高める内容になっている。諸地域の特産物から課題を発見し、地形や気候を利用した探究学習につながやすくなっている。 ○「アクティブ地理」の内容は、グループでの課題探究学習に最適である。考えをまとめやすい思考ツールの提示や、段階を踏んで考えを深められるような構成から、「主体的・対話的な深い学び」につながやすくなっている。 ○地図帳との連携が図られており、文章やグラフ・イラストを地図上で捉え考えることができる。 【内容の配列と分量】 ○基本的な「見開き2ページ1時間」の進捗で計画できる分量で、重点的に取り扱いたい単元に重みを置くこともできるだけの余裕がある。 ○見開きのページが、統一されたレイアウトで配置されているため、生徒の自主学習にも活用しやすく迷わずに取り組むことができる。 ○「技能をみがく」コーナーで、地図やグラフ・資料の活用方法が丁寧に示されている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○1時間の授業内で「課題・見通し・振り返り」が分かりやすい。さらにより大きなまとまりである单元ごとにも、それぞれ分かりやすくまとめられている。 ○生活に根づいた写真を大きく掲載することにより、生徒の主体的な学びを生むとともに、写真の読み取りから探究的な学習につなげることができる。 ○世界や日本の諸地域では、「地理的な見方・考え方」が育成されるよう、動態地誌的な課題探究学習を図っている。			

教科名（ 社会 <地理的分野> ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
【教科書の特徴】 ○各単元の初めのページで、主題に関わる大きな写真を掲載することで、単元を貫く問いが立てやすくなっている。 ○動画や雨温図の重ね合わせ・白地図など、QRコンテンツが豊富である。 ○ウクライナ侵攻や新型コロナウイルスなどの最新の世界の出来事について、生徒が興味を持って考えられるように独自の視点で取り扱っている。 【内容の配列と分量】 ○学習を深めつつ進められるような構成になっており、分量も適切である。 ○巻末に統計資料を掲載しており、授業での活用が見込まれる。 ○現代的な諸課題について多く取り上げており、歴史・公民の他分野を始め他教科と学習がリンクされている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○まとめのページでは、様々な思考ツールの活用など協同的な学びをサポートする構成がされている。 ○巻頭ページでは、「地理的な見方・考え方」について生徒も興味を持って理解できるよう、分かりやすいイラストを使用して説明している。 ○環境保全や災害・防災など、持続可能な社会について考えることができる教材を多く使用している。			

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ・ 見開き 2 ページで 1 時間の授業を構成する内容になっている。 ・ 本時の学習内容の上に、サブタイトルを付けている。 ・ 章ごとの「ふり返り」で、「ウェビング」や「くらげチャート」などの思考ツールを利用している。 ・ QR コンテンツが多い。			
【内容の配列と分量】 ・ 古代までの日本 (56) ・ 中世の日本 (38) ・ 近世の日本 (46) ・ 近代の日本と世界① (58) ・ 近代の日本と世界② (42) (第一次世界大戦以降) ・ 現代の日本と世界 (34) ・ その他 (32) ※近現代史の占める割合が若干少ない。			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 「みんなでチャレンジ」を配置し、対話的、活動的に学べるようにして歴史的な見方・考え方を育成しようとしている。 ・ 「もっと知りたい」を配置し、本文以上に興味関心を高めるコラムを配置している。 ・ 章ごとの「ふり返り」で「ウェビング」や「くらげチャート」などの思考ツールを利用し、課題を探究したり解決したりしようとしている。			

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版		
【教科書の特色】					
・見開き 2 ページで 1 時間の授業を構成する内容になっている。 ・学習内容を象徴するタイトルを設定している。 ・章の終わりを中心に「歴史を探ろう」を配置している。 ・「歴史の技」「歴史の窓」を配置している。					
【内容の配列と分量】					
<table><tr><td> ・古代までの日本（57） ・中世の日本（36 ） ・近世の日本（48） ・近代の日本と世界①（62） ・近代の日本と世界②（46） （第一次世界大戦以降） </td><td> ・現代の日本と世界（36） ・その他（32） ※歴史への導入部分が最も多い。 </td></tr></table>				・古代までの日本（57） ・中世の日本（36 ） ・近世の日本（48） ・近代の日本と世界①（62） ・近代の日本と世界②（46） （第一次世界大戦以降）	・現代の日本と世界（36） ・その他（32） ※歴史への導入部分が最も多い。
・古代までの日本（57） ・中世の日本（36 ） ・近世の日本（48） ・近代の日本と世界①（62） ・近代の日本と世界②（46） （第一次世界大戦以降）	・現代の日本と世界（36） ・その他（32） ※歴史への導入部分が最も多い。				
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】					
・「学習課題」を明らかにし、「確認」や「表現」をその見開きページに配置することで、主体的な学習を促そうとしている。 ・本文と関連する地図や写真・図などの資料を配置し、本文をより理解でき学習を深めるようにしている。 ・章の終わりの「学習のまとめと表現」で、年表を配置し、時代の流れをつかみやすくして興味関心を高める工夫をしている。					

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院		
【教科書の特徴】 ・見開き 2 ページで 1 時間の授業を構成する内容になっている。 ・時代の特色をとらえる「タイムトラベル」のページある。 ・学びを深める「アクティブ歴史」のページがある。 ・「地図帳活用」のアイコンがあり、帝国書院の地図帳と連携している。 ・章の初めに「章の問い」を配置している。					
【内容の配列と分量】 <table><tr><td> ・古代までの日本（61） ・中世の日本（42） ・近世の日本（56） ・近代の日本と世界①（64） ・近代の日本と世界②（48） （第一次世界大戦以降） </td><td> ・現代の日本と世界（32） ・その他（30） ※近現代の占める割合が若干少ない </td></tr></table>				・古代までの日本（61） ・中世の日本（42） ・近世の日本（56） ・近代の日本と世界①（64） ・近代の日本と世界②（48） （第一次世界大戦以降）	・現代の日本と世界（32） ・その他（30） ※近現代の占める割合が若干少ない
・古代までの日本（61） ・中世の日本（42） ・近世の日本（56） ・近代の日本と世界①（64） ・近代の日本と世界②（48） （第一次世界大戦以降）	・現代の日本と世界（32） ・その他（30） ※近現代の占める割合が若干少ない				
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・「タイムトラベル」や「世界とのつながりを考えよう イラスト編」で生徒の興味関心を引き出し、学習に向かう態度を促している。 ・QR コンテンツが多く、個別最適な学習を支援している。 ・「アクティブ歴史」では正解のないテーマで調べ学習を促し、発表し、意見交換する場を提供している。					

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	81	発行者名	山川
【教科書の特徴】 ・見開き 2 ページで 1 時間の構成。 ・授業の課題が明示されている。 ・ページの終わりに「ステップアップ」があり、思考力を高めようとする工夫がある。 ・「歴史へのアプローチ」「地位からのアプローチ」「歴史を考えよう」「コラム」などを配置している。 ・章ごとのまとめを文章で表すようにしている。 【内容の配列と分量】 ・古代までの日本（57） ・中世の日本（40） ・近世の日本（52） ・近代の日本と世界①（58） ・近代の日本と世界②（42） （第一次世界大戦以降） ・現代の日本と世界（30） ・その他（14） ※最もページ数が少ない。 ※近現代の占める割合が最も少ない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・写真や地図、絵など資料を多く配置し、興味を持たせる工夫がなされている。 ・多くの「Q（発問）」を配置し、考える視点を示し「主体的で深い学び」につなげようとしている。 ・学習の発展を促すように「ステップアップ」を配置し、思考力を高める発問がある。			

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版		
【教科書の特色】 ・ 見開き 2 ページで 1 時間の授業。 ・ 導入のページで「単元をつらぬく問い」を配置している。 ・ 授業ページの終わりに「確認」「表現」を配置している。 ・ 「まとめとふり回り」で「Y チャート」「マトリクス」「ロジックツリー」などの思考ツールを使っている。 ・ QR コンテンツが最も多い。 【内容の配列と分量】 <table><tr><td> ・ 古代までの日本 (58) ・ 中世の日本 (40) ・ 近世の日本 (50) ・ 近代の日本と世界① (60) ・ 近代の日本と世界② (46) (第一次世界大戦以降) </td><td> ・ 現代の日本と世界 (34) ・ その他 (34) </td></tr></table> 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 見開き 2 ページ（1 単元授業）の中で、「学習課題」「見方・考え方」が見記されており、何をどのように学ぶのか見通しがつきやすい。 ・ 章ごとにある「まとめと振り返り」では、知識の定着や思考判断できるような問いを配置し、より深く歴史を理解できる工夫がある。				・ 古代までの日本 (58) ・ 中世の日本 (40) ・ 近世の日本 (50) ・ 近代の日本と世界① (60) ・ 近代の日本と世界② (46) (第一次世界大戦以降)	・ 現代の日本と世界 (34) ・ その他 (34)
・ 古代までの日本 (58) ・ 中世の日本 (40) ・ 近世の日本 (50) ・ 近代の日本と世界① (60) ・ 近代の日本と世界② (46) (第一次世界大戦以降)	・ 現代の日本と世界 (34) ・ その他 (34)				

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	225	発行者名	自由社		
【教科書の特色】					
・見開き 2 ページで 1 時間の授業を構成する内容になっている。 ・章後に「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」を設けている。 ・「もっと知りたいコラム」を設けている。					
【内容の配列と分量】					
<table><tr><td> ・古代までの日本 (61) ・中世の日本 (34) ・近世の日本 (44) ・近代の日本と世界① (62) ・近代の日本と世界② (44) (第一次世界大戦以降) </td><td> ・現代の日本と世界 (33) ・その他 (31) ※近世の占める割合が少ない。 ※近代前半の占める割合が多い。 </td></tr></table>				・古代までの日本 (61) ・中世の日本 (34) ・近世の日本 (44) ・近代の日本と世界① (62) ・近代の日本と世界② (44) (第一次世界大戦以降)	・現代の日本と世界 (33) ・その他 (31) ※近世の占める割合が少ない。 ※近代前半の占める割合が多い。
・古代までの日本 (61) ・中世の日本 (34) ・近世の日本 (44) ・近代の日本と世界① (62) ・近代の日本と世界② (44) (第一次世界大戦以降)	・現代の日本と世界 (33) ・その他 (31) ※近世の占める割合が少ない。 ※近代前半の占める割合が多い。				
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】					
・本時の課題を明記している。 ・「調べ学習のページ」で主体的に取り組むことができるよう促している。 ・「ひとこと作文」で学習したことを自分の言葉でまとめることにより、知識理解を高めようとしている。					

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	227	発行者名	育鵬社
-------	-----	------	-----

【教科書の特徴】

- ・ 見開き 2 ページで 1 時間の授業を構成する内容になっている。
- ・ 章の初めに「歴史絵巻」を配置し時代の流れをつかみ学習の見通しを立てられるようにしている。
- ・ 毎時の学習課題が明示され、章ごとに学習のまとめが明記されている。
- ・ 「歴史ズームイン」「歴史ビュー」「人物クローズアップ」などのコラムを配置し、その時代の興味を引き立てるようにしている。

【内容の配列と分量】

・ 古代までの日本 (54) ・ 中世の日本 (38) ・ 近世の日本 (50) ・ 近代の日本と世界① (58) ・ 近代の日本と世界② (42) (第一次世界大戦以降)	・ 現代の日本と世界 (36) ・ その他 (34) ※「歴史ズームイン」が多い。
---	--

【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】

- ・ 見開きページに「課題」を配置し、学習の振り返りがしやすくなっており、「探求」欄もありより深く学習できる工夫がされている。
- ・ 歴史を多面的・多角的にとらえるため、日本の伝統や文化を多く紹介している。

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	229	発行者名	学び舎
【教科書の特色】 (届いていないので、整理できず) ※発行者の意向により、見本本の配布なし。 【内容の配列と分量】 (届いていないので整理できず) 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 (届いていないので整理できず)			

教科名（ 社会＜歴史的分野＞ ）

発行者番号	236	発行者名	令和書籍
【教科書の特色】 ・教科書自体の大きさが最も小さい。 ・基本的に章の終わりに「時代ごとの特色をとらえよう」を配置し、その時代の年表を整理し、特色あるできごとを振り返ることができるようにしている。 ・巻末資料として、各時代に関連する史跡等の地図や「日本美術図鑑」として仏像や絵画などをカラー写真で掲載している。			
【内容の配列と分量】 ・古代までの日本（109） ・中世の日本（68） ・近世の日本（86.5） ・近代の日本と世界①（81.5） ・近代の日本と世界②（60） （第一次世界大戦以降） ・現代の日本と世界（47） ・その他（76） ※教科書自体は一番小さい。 ※ページ数は一番多い。 ※古代の占める割合が多い。 ※現代の占める割合が少ない。			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・それぞれの小単元で「課題」として、何を学習するのか明らかにされている。 ・時代ごとに「政治」「文化」「外交」「産業」「政治」の 4 観点で整理し、学習の定着を図ろうとしている。 ・「新聞にまとめてみよう」「歴史について議論しよう」「市町村歌を調べてみよう」などの課題があり、「主体的に取り組む」ことができる要素がある。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 - 単元の導入では、活動を通して、生徒が主体的に学びに向かえるようにしている。単元を貫く探究活動の設定へスムーズに導き、単元の学習の見通しをもつことができるとしている。 - 学習のまとめでは、評価の観点の明示、思考ツールを使った節の問いのまとめ、キャラクターの会話を活用した探求課題の解決などの工夫がされている。 - 現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、各分野の枠をこえて貫く「5つのテーマ」を重視している。 【内容の配列と分量】 - 本文は218ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 - 標準時間数100時間のうち96時間を活用する配当で、予備時間が4時間設けられている。 - 各章の「導入の活動」と「まとめの活動」には共通の題材を使うことで学習に流れを持たせている。 - 各単元の最後には「確かめよう」を設け、模式図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図ろうとしている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 - 見開きで「導入資料」→「学習課題」→「チェック&トライ」の流れで構造化し、学習内容の定着を図っている。 - 各章の終結部に「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしている。 - 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ・ 見方や考え方ははたらかせた学びが、各章の学習内容と連動しながら養えるとしている。 ・ 内容のまとまりごとの見通し・振り返りの学習場面の充実を通じて、学習への興味・関心を喚起するとしている。 ・ 社会的事象について、資料を活用しながら多面的・多角的に考察することができ、情報を批判的に読み解いて公正に判断する力を養えるとしている 【内容の配列と分量】 ・ 本文は225ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 ・ 標準時間数100時間のうち86時間を活用する配当で、予備時間が14時間設けられている。 ・ 政治領域に重点を置くなど、各単元の扱いに軽重をつけることにより、生徒が追求しながら充実した時間を展開できるよう配慮している。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 各章の導入ページに、意識させたい視点を「見方×考え方」として設け、本時の問いかけで活用したい部分にも反映している。 ・ 章ごとの学習の見通しや節ごとの中心となる問いが分かりやすく表記されている。 ・ 各章の終わりの「学習のまとめと表現」のページが、知識・技能の定着、章の問いについての思考、主体的に考える場面の3段階で構成されている。 ・ 「関連コーナー」で3分野の連携をはかり、小学校での学習内容を意識したものとなっている。 ・ インターネットを活用した「まなびリンク」で予習・復習ができ、個別最適な学びにつなげている。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院
【教科書の特徴】 ・ 学習内容が社会の中でどのような意義を持っているかにまで言及し、「自身が社会とどのように関わってくるのか」をイメージしやすくしている。 ・ 各見開きの導入資料が、ワイドな写真やわかりやすいイラストなどを多用し、生徒に身近な事例を取り扱うようにしている。 ・ 「章・節の問い」を受けた「学習課題」を各見開きに設置し、見通し・振り返り学習を積み重ねることで、「問い」を構造化している。 【内容の配列と分量】 ・ 本文は220ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 ・ 標準時間数100時間のうち90時間を活用する配当で、予備時間が10時間設けられている。 ・ 各見開きは、本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 特設ページ「アクティブ公民」では実社会で起こりうる問題に対して、さまざまな立場から考察することを通じて、「深い学び」につなげられるよう配列されている。また、対話的な学習を通して、課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて合意形成を目指す態度を身につけられるように工夫されている。 ・ 「個別最適な学び」を支援するコンテンツとして、一人一台端末で活用できるQRコンテンツが728用意されている。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
【教科書の特色】 ・身近な場面から章の学習内容に関する問いを考え、「章の問い」を立てる流れになっている。また、立てた問いの答えを予想することを促し、学習の見通しを持つことができるとされている。 ・何を学ぶのか、どのようなことに着目するのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示した右ページの側中欄には「確認」「表現」コーナーを設け、「章・節の問い」に答える手がかりとなるよう工夫している。 ・ポートフォリオを用いて学習を振り返ることで、学びの自己調整ができるようになっている。 ・「アクティビティー」では、具体的な事例について、資料の読み取りや協働的な学習などを見すえて作成しているとされる。 【内容の配列と分量】 ・本文は220ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 ・標準時間数100時間で完結できるようになっている。 ・各編章は導入ページ「学習のはじめに」で単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようにしている。まとめとふり振り返りページでは、単元を貫く問いに答える活動を行う。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・情報を調べ、まとめる技能を修得できるよう、特設ページ「情報スキルアップ」で情報リテラシー・情報モラルなどを身につけられるよう配慮するとともに、各所で思考ツールを用いた学習ができるよう工夫している。 ・「アクティビティー」「チャレンジ公民」では、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら考察する問いを設けている。また、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習ができるようにしている。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	225	発行者名	自由社
【教科書の特色】 ・単元の番号が教科書全体を通じて連番になっている。 ・基礎的な内容の学習を重ねて学習し、より詳細に、学習を深めていく構成となっている。 ・図版やグラフなどが大きく、見やすい。 ・各章の最後に「学習のまとめと発展」があり、「最重要語句」がまとめてある。また、「学習の発展」で、課題について400字で論述するようになっている。 【内容の配列と分量】 ・本文は224ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 ・「もっと知りたい」では、より発展的な内容や時事的な内容を扱っている。 ・「アクティブに深めよう」では、小集団での調べ学習や話し合い活動のテーマを設定している。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各単元の最重要語句を見ることによって、どのくらい学習が身についたか、自己評価できるようになっている。 ・「アクティブに深めよう」では、テーマをもとに互いの調べた内容を班で交流したり、班で話し合ったりした内容を研究結果として交流しあうようになっている。 ・終章のレポート、卒業論文、ディベート等において主体的、実践的な能力を伸ばしていけるようにしている。			

教科名（ 社会＜公民的分野＞ ）

発行者番号	227	発行者名	育鵬社
【教科書の特色】 ・ 基礎的な知識・技能を習得するとともに、社会的事象を自分事としてとらえられる内容構成で、公民的教養を養うとしている。 ・ 1時間の授業の中で「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、「学びのナビゲーション」を本文ページで表現し、主体的・対話的な学習を促すとしている。 ・ 国の課題や問題を多面的・多角的に理解できるように、両論併記を充実させるとしている。 【内容の配列と分量】 ・ 本文は196ページであり、見開き1時間を1単位時間としている。 ・ 学習指導要領が示す公民的分野の授業時数100時間で学習が完結できる分量となっている。 ・ 単元構成は、学習指導要領の内容・区分に準拠して配列し、生徒の発達段階、年間配当時間に配慮し、さらに歴史学習、および道德教育との関連も図られている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 問題解決型の学習の中で、思考力・判断力・表現力や資料活用能力を育むために、「見方・考え方」「資料活用」「TRY!」のコーナーを設けている。 ・ 中学3年間の学習を通して得た知識や技能を用いて、社会科のまとめとして「持続可能な社会の形成」という観点から課題を探究し、レポートにまとめる単元を設けている。中間発表や議論、プレゼンテーションなどの言語活動も掲載し、社会科の学習内容を自らの生き方と結びつけ、社会に参画する態度を養うとしている。			

教科名（ 社会＜地理的分野（地図）＞ ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ○地図帳を深く読み取るための問いが明示されている。 ○デジタルマップや世界の景観・統計や雨温図の読み取りなど、QRコンテンツが豊富である。 ○誰もが使いやすいカラーユニバーサルデザインに対応している。 【内容の配列と分量】 ○各地方に関する資料や、自然災害・防災に関連する内容が少ない。 ○巻末の世界の統計表では、国内総生産と一人あたりの国民総所得が掲載されているため、国民の生活がイメージしやすい。 ○日本の自然環境（気候）で、季節風についての記述がない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○2枚の地図を比較検討して読み取るページが設けられている。 ○SDGsなどの現代社会の諸課題について考えさせる内容が盛り込まれている。 ○巻末の日本の都道府県の統計表では、人口構成割合や人口増加率など、過疎の問題や少子化に焦点を当てたデータが掲載されている。			

教科名（ 社会＜地理的分野（地図）＞ ）

発行者番号	4 6	発行者名	帝国書院
【教科書の特徴】 ○等高段彩表現と土地利用表現により、一目で地形と産業のつながりが読み取れる。 ○地図資料だけではなくGISジオグラフや映像資料など、QRコンテンツが豊富である。 ○鳥瞰図が多く採用されており、視覚的に全体が把握しやすい。 【内容の配列と分量】 ○巻末の統計資料では、国内総生産ではなく国民総所得を掲載しており、グローバル化に対応している。 ○自然災害・防災に関わる内容を多く取り上げている。 ○同縮尺の地図を並べて掲載するなど、地図を比較して考えられる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○SDGsについて考察できる写真・資料が多い。 ○歴史に関連する地名を表記することにより、分野を横断的に学習できる。 ○主体的な学習を促すため「地図で発見！」で適切な課題を提示している。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
【教科書の特色】 ・各学年の巻頭で、問題解決を進めるときに心がけたいポイントが掲載されている。 ・1年生冒頭に、算数と数学をつなぐ単元を「0章」として掲載されており、素因数分解、指数を先に掲載している。 ・数学を「身のまわり」や「社会」、「算数」、「ICT」、「見方・考え方」などにつながることを主軸に構成されている。（本書ではMATH CONNECTとよんでいる。） ・(ICT)デジタルコンテンツが用意され、QRコードが7社の中でも掲載数が多く、ほぼすべてのページにQRがあり、直接的に内容を確認することができる。 【内容の配列と分量】 ・総ページ数は少ない傾向にあり、巻末のページは多い傾向にある。 ・1年生では、『整数の性質』の単元が、『正負の数』の単元の前に配列されている。 ・興味を深めたり考え方を広めたりする話題やコラムのページが少ない傾向にある。 ・QRコードがページの各所に複数配置されており、様々なコンテンツを補助的に用いることが可能である。 ・プログラミングに関する内容のページはない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・基本問題にハートの記号やチェックボックスが新設され、教科書でかなえる「個別最適な学び」とされている。問題選択しながら取り組みやすいが、学び方や考え方の個別化に向けては、さらに工夫や配慮が必要である。 ・主体的・対話的で深い学びの実現として、「深い学び」のページが問題解決場面として用意されているが、「〇〇の利用」にページに限られており、日々の1コマの授業を想定した範囲の中で、学習過程の可視化がされていると取り組みやすい。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書株式会社
【教科書の特色】 ・ 巻頭に数学の学習の進め方，問題発見・問題解決の流れが図で示されている。 ・ (ICT) QRコードの掲載数が7社の中で最も少ない。しかし、動画解説や補充問題などがあり、コンテンツは充実している。 ・ 正負の数の学習に入る前に、「数の見方」という単元があり、自然数、素因数、指数などの学習を行う。 ・ (学びに向かう力・人間性等) 単元末に「活用・探求」という学習した内容を活用して、数学の世界をさらに探求する問題が掲載されている。 ・ UDフォントであるが、他社に比べて全体的に字のポイントが小さい。 【内容の配列と分量】 ・ 1年生では、『数の見方』の単元が、『正負の数』の単元の前に配列されている。 ・ 2年生では、『データの比較と箱ひげ図』の単元が、『確率』の単元の前に配列されている。 ・ 全学年において『数と式』の領域では例題の数が少ない傾向にある。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 「活動」として、生徒が話し合ったり、考えを提示し合う場面が意図的に設けられており、協働的な学びの実現が想定されている。 ・ 「〇〇の利用」のページには既習事項との関連を想起させる記述が多い。解決のしかたも提示されており、授業展開の工夫が示されている。「〇〇の利用」のページ以外についても、既習事項との関連を想起させる記述がいくらかある方が、数学的な見方・考え方を探ることにつながる。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書株式会社
【教科書の特色】 ・ 巻頭に「この教科書を使った数学の学び方」が掲載されている。 ・ 「Tea Break」という項目（コラム）があり、数学に関する豆知識や興味をひく内容となっている。 ・ 数学の質問に答えるチャットルームが用意されている。（AI による自動返信） ・ Q R コードで補充問題が掲載されている。 ・ （学びに向かう力・人間性等）章の学習の最後に、「できるようになったこと」として、これまでの学習からどんなことができるようになったか、振り返りとして自分で判断できるように工夫されている。 【内容の配列と分量】 ・ 全学年とも『数と式』の領域の占める割合が高い傾向にあり、1、2 年は最も高い。 ・ 全学年とも巻末ページが最も少ない。 ・ 『数と式』の領域における「計算力を高めよう」、章末の問題など、練習問題の量が多い傾向にあるが、巻末の練習問題は少ない傾向にある。 ・ 全学年の裏表紙に、スクラッチについて、プログラミング体験の内容が設けられている。 ・ SDGs に関する内容を多く取り扱っている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 主体的で深い学びの実現について、「数学の学び方」を重視しており、主体的に問題解決の力を身につける構成となっている。深い学びについては、「次の課題」として、新たな疑問が既に明示されているので、授業展開に工夫が必要となる。 ・ 指導の個別化の配慮については、章のまとめ問題、補助的な Q R コンテンツで対応し、学習の個別化への配慮は、節の導入などに限られているため、充実しているとは言えない。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社
【教科書の特色】 ・ (ICT) QR コード (学びリンク) を読み込むと各章の内容を動画解説や、操作しながら考えるコンテンツが含まれている。 ・ 「正負の数」の前に、「整数の見方」という素数や累乗についての解説が掲載されている。 ・ (学びに向かう力・人間性等)「学習のまとめ」として、章の終末などに、学習したことよさを強調する場面や、数学が生活の中で生かされていることを実感できる課題、学習感想を書かせる場面などが設けられている。 ・ (学びに向かう力・人間性等)「数学しごと人」という数学に関連する仕事に携わる人のインタビュー記事が掲載されており、数学がどのように役に立っているかが分かる、数学の魅力や社会につながる内容となっている。 【内容の配列と分量】 ・ 1年生では、『整数の見方』の単元が、『正負の数』の単元の前に配列されている。また、2年生では、『データの活用』の単元が、『確率』の単元の前に配列されている。 ・ 総ページ数は多い傾向にあり、1、2年生は7社の中で最も多い。 ・ 章を学習する前に既習内容を確認するページ、学習した後に再確認するページが配列されている。解答は、QRコードから呼びこまないとわからない。 ・ プログラミングに関する内容のページはないがデジタルコンテンツは多い。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 全体として、「主体的・対話的で深い学び」の授業展開に向け、生徒の「問い」を軸として、生徒が「問い」をもち、その「問い」を学級で解決し、更に新しい「問い」に向かうことを重視している。教科書にはすでに「問い」の内容がコメントとして示されているため、既習事項との関連を考えた生徒自らの疑問等をもちにくいと考える。 ・ 個に応じた取り組みのサポートとして、デジタルコンテンツ、誤答例、章末問題、工夫したノート書き方など選択肢は多い。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	6 1	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
【教科書の特色】 ・各章の章末の問題に一つひとつにチェックマークがあり、解けた問題に印をつけることができる。解けなかった場合には参照するページが注釈として記載されている。 ・各学年の巻頭に、数学の学び方について紹介している。 ・2年生「データの活用」では、インターネットの通信速度を取り扱っており、情報端末をよく使用する中学生にとって身近な題材となっている。 ・(ICT) デジタルコンテンツが多数用意されており、補充問題や章末問題の解答・解説動画などが含まれており、家庭学習しやすくなっている。デジタルコンテンツが、マークとタイトルで教科書に示してあり、コンテンツの内容がわかりやすい。 【内容の配列と分量】 ・QRコンテンツを活用することで、教科書のページ数、重さを削減している。教科書の厚さがたいへん薄い。 ・QRコードがページの各所に配置されており、補充問題等に取り組むことができるように工夫されている。 ・すべての単元で『〇〇の利用』の節を配置し、問題発見・解決の過程を意識できるような課題が設けられている。 ・「主体的・対話的で深い学び」に関する教材の内容が、7社の中で多い傾向にある。 ・数学と様々な教育課題をつなげて学ぶことができるような題材が工夫されている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・数学的な見方・考え方を体得するために、単元の巻頭や単元末に限らず、日々の授業の中で働かせた数学的な見方・考え方を顕在化させ、わかりやすく表現されており、本文中にも下線をひき示されており、繰り返し目にするように構成されている。 ・既習事項をもとにして考えたり、予想したりして、生徒が主体的に、新しい学習に円滑に入ることができるよう、自ら課題発見できるように「ひろげよう」を設定している。 ・様々な教育課題への対応として、デジタルコンテンツの解説動画が丁寧に教えてくれるので、登校が困難な生徒への学習支援など生徒が学校以外で学習を進める際の支援も配慮され、「個別最適な学び」に様々な工夫がされている。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	1 0 4	発行者名	数研出版株式会社
【教科書の特徴】 ・ 巻頭に、学び方に関する紹介のページが設けられている。 ・ 2年生「データの活用」では、ボール投げの記録を分析する手段として「箱ひげ図」を利用している。 ・ (ICT) QRコード補充問題や動画解説を見ることができる。 ・ 巻末に、小中の学習事項の系統図として、算数と中1数学の内容が関連付けてまとめられている。(1年生教科書) 【内容の配列と分量】 ・ QRコードが、ページの各所に複数配置されており、様々なコンテンツを補充的に用いることが可能である。QRコードの配置状況が、ページの下段にまとめられている。 ・ 『数と式』の領域においては問題数が多く、練習問題の量が豊富で多い傾向にある。 ・ 興味を深めたり考え方を広めたりする話題やコラムのページが少ない傾向にあり、生徒の興味をひきにくい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 紙面に掲載された対話により、数学的な見方・考え方はたらかせることが自然にできるようになっているが、一方で、生徒自身の見方・考え方がこの対話に誘導されてしまい、生徒が試行錯誤しながら、生徒どうしの対話等により考え、見出すことを妨げる要素にもなり得る。 ・ QRコンテンツとして、Link 補充、Link 資料、Link 探求、Link イメージなどの標記で示されており、ここの目的に応じて選択しやすく、「個別最適な学び」に対応しやすい。「問題」ページには、コンテンツ標記がない。			

教科名（ 数学 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版株式会社
【教科書の特色】 ・ 単元ごとに「めあて」が提示されており、学習者が何を理解すればよいかが明確になっている。 ・ 各学年の巻頭に、ノートづくりのポイントが、具体例とともに掲載されている。 ・ (ICT) デジタルコンテンツが用意されており、QRコードが7社の中で多い方である。 ・ デジタルコンテンツには補充問題やアニメーションでの解説が載っている。音声入りの動画解説はない。 ・ 各章の始めに、「次の章を学ぶ前に」として、既習事項を確認する簡単な問題が掲載されている。 【内容の配列と分量】 ・ 巻末のページの「数学マイトライ」など、その分量の割合が高く、ページ数も多い。学んだことを広げたり深めたりできるページが充実している。 ・ 巻末のページに切り離して使用できる、付録（プリント教材）が十数ページついていることは、特徴である。 ・ 『数と式』の領域の割合が低い傾向にあるが、練習問題の数が多い傾向にある。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して学んでいく数学の学び方が、「話し合おう」「深めよう」等の標記で示してあるが、単元に数カ所であり、少なすぎる。 ・ 特徴として、QRコンテンツを豊富に用意され、ICTを使った学びのサポートとして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現とされている。学習の個別最適化が、ICTの活用やこのコンテンツに示される内容に限られないように留意する必要がある。			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	11	発行者名	学校図書
【教科書の特色】 ▲横に大きなサイズ（縦 B5、横 A4）で小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ○各章の最初に評価基準が明記してある。 ○各時間の課題が明記してある。 ▲光沢のある紙を使用しているため、光に反射して見えにくい。目が疲れる。 ▲見開き写真の色彩が強すぎる。 ○▲図や写真が大きく見やすいが、全体を捉えにくい。 ▲単元のまとめや演習問題の解説が充実していない。 ▲教科書作成者に学校関係者がほとんどいない。 ▲高等学校へのつながりについては記述がほとんどない。 ▲○実験・観察のページは、実物写真で説明がしてあり、わかりやすいが、ページが複数ページにわたっているので、実験中にページをめくりながら確認する必要がある。 【内容の配列と分量】 □分野の配列が生物→化学→物理→地学（1年）の順である。 □分野の配列が化学→生物→物理→地学（2年）の順である。 □分野の配列が物理→生物→化学→地学（3年）の順である。 ▲教科書の最後に問題、思考問題がまとめられているが、各単元の後に入れた方がよい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○実験観察などを中心に生徒・先生が話している様子から対話や探究学習を意識した構成になっている。 ○すべてのページにある QR コードから、6 か国語に対応した Web 版の教科書（ミライ教科書）へ入ることができる。また、分からないことを質問し答えてくれるというチャット機能がある。			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ▲横に大きなサイズ（縦 B5、横 A4）で小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ○文字サイズが大きく、落ち着いた配色やレイアウトで見やすくなっている。 ▲本文の一行が長く読みにくい。視界に一度に入ってこない。また、読むことに課題のある生徒にとっては、読んでいるときに上下の行にとびやすい。 ○図が大きく見やすい。 ○章のはじめに小学校で学習したことが、記載されている。 ○章の始まりに「学習前の私」、章の終わりには「学習後の私」として、自分の学びを気づかせる工夫がある。 ○本文の文字が大きく、1 ページ当たりの行数も少なく読みやすくなっている。 ○重要語句が朱書きしてあり、カラーシートを用いて文字を隠した学習ができる。 ▲背景が暗い（黒系）ところに書かれている朱書きの文字が見にくい。 ▲QR コンテンツが増えたが、他社と比較すると少ない。 【内容の配列と分量】 □分野の配列が生物→化学→物理→地学（1 年）の順である。 □分野の配列が化学→生物→地学→物理（2 年）の順である。 □分野の配列が化学→生物→地学→物理（3 年）の順である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○実験観察などを中心に生徒・先生が話している様子から対話や探究学習を意識した構成になっている。 ○探究の進め方が折り込みになっており、いつでも確認ができるよう工夫されている。			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	61	発行者名	啓林館
【教科書の特色】 ▲横に大きなサイズ（縦 B5、横 A4）で小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ○QR は一覧になっていて活用しやすい。また、どのような内容にリンクするのか明記されていて分かりやすい。 ○資料問題や思考問題が充実している。 ○高学年への移行内容や高校への発展的な内容、身の回りの現象などのコラムが、充実している。 ○探究や学習のふりかえり、ポートフォリオなど、多様な学習形態に対応している。 ▲既習事項とのつながりについては、あまり書かれておらず、QR コンテンツでの確認が中心になっている。 ○実験操作などが動画で確認できる。 ○見開きの両サイドに図・写真、中央に文字が一貫して配置されており、教科書を持ちした時も文字が中央にあり、見やすくなっている。 ○文字のポイント数や行間が良い。 【内容の配列と分量】 □分野の配列が生物→地学→化学→物理（1年）の順である。 □分野の配列が生物→地学→化学→物理（2年）の順である。 □分野の配列が生物→地学→化学→物理（3年）の順である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○各章ごとに探究学習を取り入れている。 ○教科横断的な他教科との関連が示されている。 ○探究シートが付いており、活用することで、探究活動をスムーズに行うことができる。			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
【教科書の特徴】 ○B5 サイズで持ち運びや理科室での活用に適している。 ▲コンパクトなサイズだが文字や図が小さく読みづらい。 ○小学校で学習してきたことが図等を使って丁寧に記載されている。また、章はじめにこれから学習することも記載されており、つながりが重視されていて分かりやすい。 ▲QR が少ない。 【内容の配列と分量】 □分野の配列が生物→化学→物理→地学（１年）の順である。 □分野の配列が化学→生物→物理→地学（２年）の順である。 □分野の配列が物理→生物（つながり）→化学→地学（３年）の順である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○各単元で探究学習が分かりやすく掲載されている。 ○章末に読解力を必要とする問題が多く取り入れられている。			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ▲横に大きなサイズ（縦 B5、横 A4）で小型の生徒用学習机や理科室では使いづらい。 ○分野ごとに一貫した色分けがしてある。 ○紙質の光沢がなく、図や写真が大きく多様で見やすい。 ▲紙が薄く、図の裏の文字が透けていて見えづらいところがある。 ○実験の様子が図ではなく、写真である。 ○高学年への移行内容や高校への発展的な内容が充実している。 ▲表紙写真（生徒の顔写真）が気になってしまう生徒が多そう。 ○教科書の形が使いやすくなった。 ○QR コンテンツが豊富 ○疑問→実験→まとめ→活用（学びをいかそう・高校では・身近なところでは）という流れがよい。 ○章末に「流れに沿ってじっくり探究」があり、活用しやすい。 ○章末に、「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」があり、内容確認や理解度の確認などで使いやすい。 ▲関係しているすべての内容を取り上げようとするあまり、盛沢山になっているところがある。 ▲行間を詰めており、見にくいところがある。 【内容の配列と分量】 □分野の配列が生物→化学→物理→地学（1年）の順である。 □分野の配列が化学→生物→地学→物理（2年）の順である。 □分野の配列が化学→生物→物理→地学（3年）の順である。 ○実際の進度に合わせた配列になっており、ページ順に学習を進めることができる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ○実験観察などを中心に生徒・先生が話している様子から対話や探究学習を意識した構成になっている。			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	27	発行者名	教育芸術社
【教科書の特徴】 ・写真の色が鮮やかで、レイアウトが美しく、統一感がある。 ・生徒にわかりやすい文章で記されている。 ・QRコードが数多くあり、デジタルコンテンツが豊富である。 ・音楽界で活躍している著名人のインタビューを掲載したり、生徒が親しみやすいイラストになっている。 ・教科書を開けやすく、丈夫で長持ちするような素材やつくりになっている。 【内容の配列と分量】 ・基本から発展的な内容になるように配列されている。 ・教材の数や鑑賞の選択肢、合唱曲の数のバランスがよい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領に沿った内容になっている。 ・主体的、対話的な授業が展開しやすく、音楽を通して社会とつながる内容となっている。 ・日本や地元の伝統文化を取り入れた内容となっている。 ・広いジャンルの音楽の紹介がされており、生涯にわたって音楽を親しめる内容となっている。			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ・ 情景や曲想を感じさせる写真や画像が多い。 ・ ワークシート形式のQRコードが多く含まれている。 ・ 教材に関する知識が豊富に掲載されている。 ・ 楽典の資料の難易度がやや高い。 ・ 写真と文字の配列がやや見にくい。 【内容の配列と分量】 ・ 基本的な内容から順序立てて配列してある。 ・ 鑑賞教材がやや多く、すべてを学習することは難しい。 ・ 解説文がやや多い。 ・ 見開きのレイアウトに統一感がない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 学習指導要領に沿った内容となっている。 ・ 兵庫県の題材を多く、取り入れてある。 ・ 日本の伝統文化を扱っていて解説もくわしい。			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版株式会社
【教科書の特色】 ・表紙にエンボス加工（紙に凹凸をつけて浮き彫りにする加工）を施し、触感的にも興味・関心を持つことができる。 ・作品が原寸大で多く掲載しており、作品を身近に感じ、深く鑑賞できる。 ・作家からのメッセージ動画があり、鑑賞を深めることにつなげやすい。 ・中学生以上で習う漢字の多くにルビが振ってある等、多様な特性を持つ生徒に対応できる。 ・関連ページが記載しており、他の項目と関連付けた学習をすすめることができる。 ・新海誠さん、荒木飛呂彦さんなどの若者が興味を持ちやすい人物を起用している。 【内容の配列と分量】 ・基本的な事項を精選し、教材の確定・配列・構成が明確である。 ・美術に対するアプローチから入り、スケッチなどの平面作品から人物、形と色にうまくつながっている。デザインなどから工芸などの立体につながり、さらに鑑賞に入っている。また、それらをバランスよく配置している。 ・1年生では、小学校で学んだ図画工作から美術へと変わる中で、これから学んでいく内容と見通しを示し、美術教育の意義を明確にしている。 ・教科書は、1年生と2，3年生の2冊構成である。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた編成となっている。 ・防災やSDGsに関連する教材も取り扱っており、ゆたかな学びを保証している。 ・各教材に導入用の動画があり、学習内容を確認しやすく、発想や構想をひろげやすい。 ・鑑賞の際、2つ折りになっているページを広げたり戻したりすることで鑑賞する絵を変えることができ、複数で対話しながらの鑑賞を行うことができる。			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版株式会社
【教科書の特徴】 ・他教科とのつながりを示すコラム欄があり、他教科の学びとつなげることができる。 ・デジタル教材で多くの生徒作品を鑑賞できるとともに、作品を制作した生徒のインタビュー動画を視聴できる。 ・日本画、浮世絵のページは、用紙の質感を変えて和紙のような素材となっている。 ・紙面の使い方が大胆・贅沢であり、教材のテーマカラーが誌面の多くを占めるページがある。 ・別冊資料では、構想をひろげるための「マッピング」や「ベン図」を扱っている。 【内容の配列と分量】 ・基本的な事項を精選し、教材の確定・配列・構成が明確である。 ・別冊資料で、写真やデジタル教材を通じて、技法・画材などの知識・技能を得ることができる。 ・1年生では、絵に対するアプローチ、発想の仕方、平面と立体などから、墨画、ミクストメディアによる立体、版画、仏像、焼き物、土偶、文様、デザインなど、基礎的な部分を含め様々なものが網羅してある。 ・2，3年生では、映像メディアの活用や日本美術史の学習において、参考にできるデジタル資料が充実している。また、大きな写真を使い、漫画やユニバーサルデザインを取り入れた作品などを紹介している。 ・教科書は、1年生と2，3年生の2冊構成であり、さらに別冊資料がある。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた編成となっている。 ・2，3年生を中心に防災関連教材を豊富に取り扱っている。 ・技能に関しては、完成作品とともに制作の手順を適宜掲載し、生徒が技能を習得し、活用する手助けとなる工夫がある。生徒が実際どのように作品をつくっているのか、どのように工夫しているのかがわかり、主体的に学習しようとする態度を育むことができる。			

教科名（ 美術 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版株式会社
【教科書の特徴】 ・デジタル教材を活用して技法、画材などの知識、技能を豊富に得ることができる。 ・デジタル教材「人形アプリ」があり、人物を描いたり立体造形したりする際に活用できる。 ・実物大で掲載したり、美術館等に設置してある写真を掲載したりするなど、より身近に感じられる工夫がある。 ・教科書のページを折り、実際に屏風を立てることができるなど、よりリアルに鑑賞できる。 ・松任谷由実や所ジョージなど、一見美術とは関係なさそうな著名人の言葉を掲載し、美術の世界に入りやすくしている。 【内容の配列と分量】 ・基本的な事項を精選し、教材の確定・配列・構成が明確である。 ・1年生では絵に対するアプローチから入るよう、実際に思考、制作する様子を示す写真を掲載している。墨画、版画、工芸、文字のデザイン、焼き物や伝統文化などを網羅し、鑑賞に関することや発想のヒントを含んでいる。 ・2，3年生は「上」「下」に分かれている。「上」は1年生の教科書を様々にひろげる形になっていて、「下」は自画像など自分と向き合い、未来につなげる内容となっている。 ・3冊に分冊（1年生、2・3年生上、2・3年生下）し、1冊の計量化を図っている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた編成となっている。 ・各教材に導入用の動画があり、学習内容を確認しやすく、発想や構想をひろげやすい。全体に思考に関するヒントを散りばめるなど、自ら学ぼうとする姿勢を育むことにつなげやすい。 ・社会や自分の生活とつながるようなパッケージデザインや道徳的なつながりを持つ題材がある。 ・防災に関する教材が豊富で、兵庫にゆかりのある作品も掲載してある。			

教科名（ 技術 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ・UD 書体を使用し、ふり仮名は特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いて可読性を高めるように配慮されている。カラーユニバーサルデザインについて、専門家の校閲を受けている。 ・QR コンテンツが充実しており、様々な技能が学べる動画や短い番組などを見ることができ、学習への興味・関心を高めるように工夫されている。また、教科や校種との関連を示すリンクマークやDマークがついているものは、QR コンテンツを通じて「他教科」や「小学校」の関連する紙面を見ることができるよう工夫されている。 ・各領域の途中やまとめの最後に載っている「技術の匠」では製品の開発者や技術者などからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ・問題解決例のページは、プロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるように工夫されている。また、各領域の参考題材は各学校の授業時数に応じて題材を選ぶように配慮しており、それぞれ 10～14 題材を取り上げている。 【内容の配列と分量】 ・技術分野で学習する内容を、それぞれ 4 つの領域としてまとめている。最初にガイダンス、巻末の「プログラミング手帳」には Scratch やドリトル、JavaScript、Python などのプログラミングの例や Society5.0 についての資料を載せており、小学校での進度差を埋める工夫がされている。 ・A 領域は 64 ページあり、基礎基本の習得に 34 ページ、問題解決に 20 ページ、まとめに 10 ページと様々な知識・技能を学べる構成になっている。 ・B 領域は 48 ページあり、基礎基本の習得に 18 ページ、問題解決に 20 ページ、まとめに 10 ページと問題解決や実習に力を置いた構成になっている。 ・C 領域は 66 ページあり、基礎基本の習得に 34 ページ、問題解決に 22 ページ、まとめに 10 ページという構成である。発電のエネルギーミックスや新幹線など、自国の技術について考えることができるページが組み込まれている。 ・D 領域は 70 ページあり、基礎基本の習得に 22 ページ、問題解決に 38 ページ、まとめに 10 ページという構成である。問題解決は、双方向プログラミングに 18 ページ、計測・制御に 20 ページである。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各編の冒頭に、学習の到達目標を「目標」としてはっきりと示している。各編末には「学習のまとめ」を見開きで設け、評価の三観点に沿った設問を掲載し身につけた資質・能力を確認できる。 ・すべての領域の後に、「総合的な問題解決」として STEAM 教育との関連を図りながら、新しいイノベーションを生み出すためのアイディアとして、6 題材を取り上げている。 ・「主体的・対話的で深い学び」につながる活動や協働するための発問を数多く取り入れるなど、深い学びの実現のための工夫がされている。 ・兵庫県に関する内容は、巻頭のガイダンスの技術の歴史（建築）の部分に姫路城が取り上げられている。 ・これからの情報の技術として、自然災害の被害に備える情報の技術が紹介されている。			

教科名（ 技術 ）

発行者番号	6	発行者名	教育図書
【教科書の特色】 ・UD 書体を使用している。また、カラーバリアフリーの観点から、専門家の校閲を受けている。重要語句を青色の太字にし、必要な漢字にふり仮名を振っている。 ・ガイダンスの環境の整備において、一般の中学校の技術室及び特別支援学校の両方の整理・整頓や板書及び掲示について掲載をしている。 ・別冊「スキルアシスト」に掲載された QR コードで知識や技能に関する動画や、「スゴ技」「技ビト」では職人へのインタビュー動画を閲覧し、学習内容を深めることができるように工夫されている。 ・「先輩に聞いてみよう」では技術に関する大会に参加した中学生を紹介したり、「先輩からのメッセージ」では高等学校で専門的な学習に取り組む先輩を紹介することで、進路について考えさせることができるよう配慮されている。 ・巻末には各領域用のワークシートが綴じられており、教科書の流れに沿って記入し、切り離して提出できるようになっている。 ・実習例のうち 1～2 つは作業工程に関して、写真を多用して丁寧に説明しており、分かりやすい。 【内容の配列と分量】 ・技術分野で学習する内容を、4 つの領域としてまとめている。最初にガイダンス、巻末に「E 夢をかなえる技術」として問題解決に向かう考え方を数ページ掲載してある。 ・A 領域は 54 ページあり、基礎基本の習得に 20 ページ、問題解決に 28 ページ、まとめに 6 ページである。導入的実習と、実習例 4 つが示されている。 ・B 領域は 42 ページあり、基礎基本の習得に 14 ページ、問題解決に 24 ページ、まとめに 4 ページである。導入的実習と、実習例 6 つが示されている。3 社のうちでは珍しく全ての生物について実習が示されており、作物の栽培についても露地栽培と容器栽培の両方が掲載されている。 ・C 領域は 60 ページあり、基礎基本の習得に 24 ページ、問題解決に 32 ページ、まとめに 4 ページである。導入的実習 1 つずつ（電気・機械）と、実習例 6 つ（各 3 つ）が示されている。 ・D 領域は 72 ページあり、基礎基本の習得に 20 ページ、問題解決は、双方向プログラミングに 26 ページ、計測・制御に 22 ページ、まとめに 4 ページである。導入的実習 1 つずつ（双方向・計測制御）、実習例 5 つ（双方向 3、計測制御 2）である。領域内において、プログラミングに関するページが非常に多く、特にセキュリティや情報モラルに関する内容が少ない印象を受ける。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・問題解決の手順を丁寧に示すことで、技術をいかした問題解決能力を育めるよう工夫している。 ・「やってみよう」では教科書中にワークシートの要素を含むことで、考えさせたり、調べさせたりする活動を通して主体的な学びができるように配慮されている。 ・実習に重きをおいた構成になっており、活動時間は保証されると考えるが、それを支える知識面の構成が物足りないと感じる。			

教科名（ 技術 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
【教科書の特色】 ・UD 書体を使用し、可読性を高めている。文章は特別支援教育の観点から、単語を途中で改行しないようにしている。カラーユニバーサルデザインの配慮もされており、専門家による校閲が行われている。 ・各内容の適切な箇所に QR マークがあり、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。 ・小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページに示している。また、文中で関連がある箇所にはマークが示されており、学年・教科横断的なカリキュラムが立てやすいよう工夫されている。 ・キャラクターは多様性にも配慮され、生徒が関心・意欲をもって学習を進めるのに効果的である。 ・ガイダンスで、中学生の所持率が高いスマートフォンについての基本的なルールやマナーや、デジタル・シティズンシップについても、その資質についておさえられるように配慮されている。 ・技術に関するインタビューを載せてあり、職業観・労働観を育むことができるように配慮されている。 ・COVID-19（新型コロナ）によって、感染を避けながらコミュニケーションやサービスができるようにさまざまな技術があったことに気付けるように配慮されている。 【内容の配列と分量】 ・技術分野で学習する内容を、それぞれ4つの領域としてまとめている。最初にガイダンス、巻末に10ページ程度を「技術の出口」として、これからの技術についての話題や総合的な実習を取り上げており、社会の問題に技術で対応するための考え方を深められるように工夫されている。 ・A 領域は80ページあり、基礎基本では知識面に24ページ、技能面に22ページを割り、問題解決に26ページまとめ等に8ページと基礎基本について丁寧に説明されている。実習例は7つと充実している。 ・B 領域は52ページあり、基礎基本の習得に22ページ、問題解決に22ページ、まとめ等に8ページで標準的な構成である。実習例は7つと充実している。 ・C 領域は54ページあり、基礎基本の習得に30ページ、問題解決に16ページ、まとめ等に8ページである。実習例は4つ示されている。 ・D 領域は74ページであり、基礎基本の習得に36ページ、問題解決は双方向性プログラミングに16ページ（実習例7つ）、計測・制御には14ページ（実習例5つ）、まとめ等に8ページである。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・各領域は「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的に学習が進められるように工夫されている。各領域の最後にある「学習のまとめ」では、評価の三観点に沿った設問が掲載されており身についた資質・能力を確認できるよう工夫されている。 ・各小項目の冒頭にある「学習課題」を通して生徒が授業へ積極的に取り組めるよう配慮している。また、適所に配置された「実験」や「やってみよう」などの活動を通して理解を深めることができるよう工夫されている。最後にある「CHECK」によって自己の学びを調整し深い学びになるよう工夫されている。 ・兵庫県に関する内容は、A 領域の巻頭見開きで姫路城が取り上げられている。また、じょうぶな構造の説明において、トラス構造の箇所で明石海峡大橋が取り上げられている。			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ・栄養計算などに活用できる献立作成ソフトがコンテンツとして収録されている。 ・QRコンテンツ内の目次が整理されており、動画などが選びやすい画面構成になっている。また、動画には字幕が入っていて、様々な生徒に対応できるように配慮されている。 ・調理実習の手順など、時間の経過を意識できるような工夫がされている。 ・調理実習で使用するアレルギー食材には目印があるなど、安全や衛生面に配慮した内容になっている。 【内容の配列と分量】 ・A分野の内容が二つに分割され、A（未来につながる家庭分野）、B、C、A（私たちの成長と家族・地域）という配列になっている。中学校家庭科の導入で扱うことが多い単元が、後半のA分野の方として配置されている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・実習教材など、実践的・体験的な内容について多く取り扱われているが、調理実習に関する実践的な記述が少ない。 ・防災について扱う内容が少ない。 ・家族・家庭生活に関して、具体例が豊富に記載されている。			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	6	発行者名	教育図書
【教科書の特徴】 ・QRコンテンツが充実しており、動画だけでなく関連資料やデータなどへのリンクもできる。 ・栄養計算などに活用できる献立作成ソフトがコンテンツとして収録されている。 ・本文に使われているフォントが大きく、見やすい。 ・調理実習において失敗例の写真も掲載されているが、その理由や対応は記載されていない。また、アレルギー食材の下線の色が赤のため、重要語句のように見える。 ・学習のまとめとして、章末に学習のふり返りが3観点に沿って設けてあるが、問題のみである。 【内容の配列と分量】 ・学習指導要領に沿った配列である。 ・主体的・対話的な部分について、「考えてみよう」「話し合ってみよう」というワークが掲載されている。 ・日本の伝統文化に関する記述のうち、和服の文化の内容がやや少ない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・防災についての取り扱いはあるが、多くはない。また、東日本大震災や熊本地震については記載されているが、阪神淡路大震災についての記載はごく一部である。 ・生活の課題と実践に関する内容が豊富である。			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版株式会社
【教科書の特色】 ・QRコンテンツ内の動画がすぐに見られるような画面構成になっている。また、保育に関する動画が幼児の発達など押さえないポイントが上手く収められた内容になっている。 ・小単元のページごとに、生活の具体的な場面から生徒が考えることのできる導入課題（発問）が記載されている。 ・調理実習における調理方法の内容について、手順だけでなく、理由まで記述がされている。 ・各分野の学習内容に関連する職業に就いている方のインタビュー記事があり、キャリア教育とも関連付けられている。 【内容の配列と分量】 ・学習指導要領に沿った配列である。中学校家庭科のガイダンスとA分野の内容を結びつけて学習できるようになっている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・「主体的・対話的・深い学び」を考慮し、「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」という表現で、分かりやすい構成になっている。 ・SDGsについて、どの分野にも関連付けて取り上げられている。 ・兵庫県に関する項目について、郷土料理や阪神淡路大震災を取り扱った内容が本文中に記載されている。			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
【教科書の特徴】 ・説明文が左側、資料が右側にあり、1 単位時間の学習内容が見てわかりやすい構成になっている。 ・『学習のねらい』が明確に示されており、学習に取り組みやすい。また、『つかもう』『トピックス』など、導入に活用しやすい内容が盛り込まれている。 ・各ページの構成が統一されており、集中して見やすい。また、色合いが鮮明でわかりやすい。 ・説明文がわかりやすく、重要語句には異なるフォントが使用されている。また、読み仮名もついており配慮が成されている。 ・『話し合ってみよう』『活用して深めよう』では話し合い活動を取り入れることができ、対話を通して、学習内容を深められる構成になっている。 ・キーワードで振り返りをし、再確認ができる構成になっている。 ・『保健編』における資料（統計・グラフ等）が豊富である。 【内容の配列と分量】 ・見開き 1 ページの中に『学習のねらい』『つかもう』『トピックス』『話し合ってみよう』『活用して深めよう』『キーワード』『ミニ知識』が読みやすい配列で示されており、分量も適当で見通しが持ちやすい。 ・学年ごとに学習内容が分類されている。『体育編』『保健編』にわかれており、どの学年も『体育編』から始まっている。 ・章末には『学びを活かそう』と『学習のまとめ』があり、これまでに習得した知識をまとめたり活用したりすることができる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・既習事項をもとに、学んだ知識を習得・活用していくことができ、実生活と結びつけ、対話を通して深い学びにつなげる工夫が成されている。 ・全体的に生徒自らが主体的に取り組み、学びやすい説明文・資料等でまとめられている。			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特色】 ・ 1 単位時間の学習内容がわかりやすい構成になっている。 ・ 全体的に色合いが薄暗く見えにくい。見開き 1 ページ内に資料が分散しており、視覚的に捉えにくい。 ・ 巻頭巻末の資料、巻末のスキルブック、章末資料が豊富で充実している。 ・ 既習内容から『学習課題』を提起し、授業で『課題の解決』を図るという構成になっている。 ・ 説明文は短く簡潔にまとめられている。重要語句には異なるフォントが使用され、読み仮名もついており配慮が成されている。 ・ 『活用する』では、話し合い活動のテーマが設定されている。また、『広げる』では、学習した内容を基に自分の実生活に当てはめたり更に学びを広げたり汎用性を高める工夫が成されている。 ・ Dマークコンテンツが充実しており、活用を通して学習の幅を広げることができる。 【内容の配列と分量】 ・ 『章の扉』『各時間の学習』『章末資料』『学習のまとめ』の順で構成されている。 ・ 課題解決型の授業構成になっており、1 単位時間の流れが分かりやすく、見通しを持って学習に取り組むことができる。 ・ 学年ごとに学習内容が分類されている。『体育編』『保健編』にわかれており、どの学年も『保健編』から始まっている。 ・ 章末には『学習のまとめ』があり、習得した知識をまとめたり活用したりすることができる。 ・ デジタルコンテンツは授業中に使用したり予習に活用したりと見やすい工夫がある。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 生徒自らが主体的に取り組む学びやすい説明資料で構成されている。しかし、解説には補足が必要な部分もある。 ・ 『活用する』は、1 単位時間の授業で対話的な学習を意識したテーマ設定が成されている。 ・ 資料や写真が多く興味を持ちやすい。また、それらを活用して自分の考えを発言したり話し合ったりしやすい。			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	5 0	発行者名	大修館書店
【教科書の特色】 ・ 写真や挿絵が多く、興味を持ったりイメージしたりしやすい。 ・ 見開き 1 ページに 1 単位時間の学習内容が簡潔にまとめられている。 ・ 『課題をつかむ』から『学習のまとめ』に至るまでの過程が明確で分かりやすい。 ・ 自分の生活を見直したり、問題を解いたりして興味を持ちやすい。 ・ 特に話し合い活動などの場面の設定されていない。 ・ 巻末には用語の解説があり分かりやすい。 ・ W e b 保体情報館があり、詳しい情報を知れたり学習活動に活かしたりできる。 【内容の配列と分量】 ・ 章末には『特集資料』や『章のまとめ（問題）』があり、復習や振り返りがしやすい。 ・ 学習内容が学年ごとに分類されている。『体育理論編』『保健』にわかれており、どの学年も『体育理論編』から始まっている。 ・ 見開き 1 ページに、『課題をつかむ』『ほり下げる』『きょうの学習』『キーワード』『学習のまとめ』の 5 つがわかりやすく配列されている。課題解決型の授業構成になっており、1 単位時間の見通しが持ちやすい。 ・ 学びを深めることができる資料や写真、また、デジタルコンテンツも充実しているが、各資料等への説明がやや少ない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 全体的に生徒自らが主体的に取り組む学びやすい説明資料でまとめられている。 ・ 資料や写真が多い分、それらを活用して考えを出し合ったり話し合ったりしやすいが、説明が少ないため、補足説明が必要となる。			

教科名（ 保健体育 ）

発行者番号	2 2 4	発行者名	学研
【教科書の特色】 ・ 章末にまとめ問題があり、復習や振り返りがしやすい。 ・ 1年間を振り返るページがあり、実生活とのつながりを確認できるように工夫されている。 ・ 新体力テストの記録欄があるが、3年間分記入できる欄があればさらによい。 ・ 『情報サプリ』『章デジ（二次元コード）』があり、より詳しい情報を入手し、学習活動に活かすことができる。 ・ 説明文は短く簡潔にまとめられており、重要語句には異なるフォント及びフォントサイズが使用されている。また、読み仮名もついており配慮が成されている。ただし、読み仮名がついたことで、フォントサイズが小さくなり見えづらい。 ・ 『ウォームアップ』で課題を発見し、学習課題を明確にした後、『エクササイズ』で課題の解決を図り、『学びを生かす』では、話し合い活動等を通して学びを深める構成になっており、授業の見通しを持ちやすい。 【内容の配列と分量】 ・ 『章の扉』『各時間の学習』『章のまとめ』の順で構成されている。 ・ 見開き1ページに、1単位時間の学習内容が簡潔にまとめられている。 ・ 学習内容が学年ごとに分類されている。『体育編』『保健編』にわかれており、どの学年も『体育編』から始まっている。 ・ 様々な工夫が成され、資料等の補足説明が多い分、一見して見えづらい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 章末に、『探求しようよ!』『実習』があり、既習内容を基に、生徒が主体的に学習に取り組み、学んだ知識を活用していく工夫が成されている。しかし、対話になるきっかけや実生活に結びつけて考えるには、ややテーマ設定が難しい。 ・ 全体的に生徒自らが主体的に取り組み学びやすい説明資料でまとめられている。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
【教科書の特徴】 ・ AB 版、197 ページ（1 年）、205 ページ（2 年、3 年） ・ 教材の冒頭にある学習のテーマについて考える。 ・ 教科書を読みながら「つぶやき」に自分の考えをメモする。 ・ 「考えよう」（ぐっと深める）について考える。 ・ グループで話し合う。 ・ 自分と向き合いながら「見つめよう」について考える。 ・ ワークシートを利用し、一時間の振り返りを行う。 ・ Web サイト、VR 映像、心情円、他教科リンクがある。 【内容の配列と分量】 ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっている。内容項目は全て網羅している。 ・ 3 5 教材と付録 4 教材がある。 ・ 同一教材の取扱い（4 者以上） 『裏庭での出来事』（1 年）『夜のくだもの屋』（2 年）『二通の手紙』（3 年）『足袋の季節』（3 年） 『一冊のノート』（2 年）『六千人の命のビザ 杉原千畝の選択 命のトランジットビザ』（2 年） 『卒業文集最後の二行』（3 年） ・ 各領域の割合 1 年 自：17.2 % 人：16.2 % 集：29.4 % 生：18.2 % 他：18.7 % 2 年 自：15.1 % 人：17.0 % 集：32.1 % 生：18.5 % 他：17.0 % 3 年 自：13.1 % 人：14.1 % 集：38.0 % 生：15.6 % 他：19.0 % （自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ いじめ問題への対応（1 年 7 2 年 4 3 年 4） ・ 問題解決的な学習（1 年 3 2 年 3 3 年 4） ・ 体験的な学習（1 年 1 2 年 1 3 年 1） ・ 伝統や文化等（1 年 5 2 年 3 3 年 4） ・ 兵庫県（1 年 1 2 年 2 3 年 1） ・ 防災（1 年 3 2 年 2 3 年 3） ・ 情報（1 年 2 2 年 2 3 年 2） ・ 人権・福祉（1 年 1 2 2 年 1 1 3 年 1 2） ・ 環境（1 年 6 2 年 5 3 年 3） ・ 「主体的・対話的で深い学び」写真やイラストを見て自ら問題を見出し、その問題についてグループや学級で話し合う活動が設定されている。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ・ B5 版、200 ページ（1 年）、192 ページ（2 年、3 年） ・ 「導入」の問いで、教材を通して考えていくことを意識づけ。 ・ 「学びの道しるべ」で道徳的諸価値について考えを深める。 【内容の配列と分量】 ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっている。内容項目は全て網羅している。 ・ 35 教材。 ・ 同一教材の取扱い（4 者以上） 『裏庭での出来事』（1 年）『夜のくだもの屋』（2 年）『二通の手紙』（3 年）『足袋の季節』（3 年） 『六千人の命のビザ 杉原千畝の選択 命のトランジットビザ』（2 年） 『卒業文集最後の二行』（3 年） 各領域の割合 1 年 自：21.4% 人：15.5% 集：30.6% 生：17.0% 他：15.5% 2 年 自：18.7% 人：19.2% 集：34.3% 生：13.6% 他：14.1% 3 年 自：14.6% 人：17.2% 集：35.4% 生：18.7% 他：14.1% （自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ いじめ問題への対応（1 年 12 2 年 12 3 年 5） ・ 問題解決的な学習（1 年 0 2 年 2 3 年 1） ・ 体験的な学習（1 年 3 2 年 2 3 年 1） ・ 伝統や文化等（1 年 6 2 年 3 3 年 5） ・ 兵庫県（1 年 1 2 年 3 3 年 0） ・ 防災（1 年 3 2 年 3 3 年 2） ・ 情報（1 年 3 2 年 4 3 年 2） ・ 人権・福祉（1 年 16 2 年 15 3 年 7） ・ 環境（1 年 5 2 年 3 3 年 5） ・ 問題解決的な学習や体験的な学習（モラルスキルトレーニング、役割演技）などの多様な指導方法を効果的に取り入れている。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版
-------	----	------	--------

【教科書の特徴】

- ・ B5 変型版、184 ページ（1 年）、192 ページ（2 年、3 年）
- ・ 「考えよう」で生徒が教材を通して何を学ぶのか、学びのテーマを提示。
- ・ 「見方を変えて」で生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるように問いを設定。
- ・ 「つなげよう」で教材の特質に合わせて、生徒がさらに深く考えたり、行動につなげたりできるように工夫されている。

【内容の配列と分量】

- ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成となっている。内容項目は全て網羅している。
- ・ 3 5 教材（1, 2 年） 3 4 教材（3 年）と付録 2 教材がある。
- ・ 同一教材の取扱い（4 者以上）

『裏庭での出来事』（1 年）『二通の手紙』（3 年）『足袋の季節』（3 年）

各領域の割合	1 年	自：16.0%	人：14.4%	集：30.6%	生：19.1%	他：19.9%
	2 年	自：15.3%	人：18.3%	集：29.4%	生：16.8%	他：20.1%
	3 年	自：21.4%	人：13.3%	集：27.9%	生：15.3%	他：22.1%

（自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊）

【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】

- ・ いじめ問題への対応（1 年 11 2 年 13 3 年 7）
- ・ 体験的な学習（1 年 1 2 年 1 3 年 1）
- ・ 兵庫県（1 年 1 2 年 1 3 年 2）
- ・ 情報（1 年 3 2 年 3 3 年 2）
- ・ 環境（1 年 4 2 年 2 3 年 2）
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」：自ら問いをもち、その問いを探究する姿勢を育てる様な工夫をしている。

- ・ 問題解決的な学習（1 年 1 2 年 1 3 年 1）
- ・ 伝統や文化等（1 年 5 2 年 6 3 年 5）
- ・ 防災（1 年 1 2 年 3 3 年 2）
- ・ 人権・福祉（1 年 13 2 年 12 3 年 11）

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
【教科書の特徴】 ・ 大きさ B5 版 縦 257mm 横 183mm ・ ページ数 1 年：185 2 年：192 3 年：201 QR コンテンツあり ・ 学校の行事、発達段階に合わせた構成と配列 ・ ユニット「いじめと向き合う」を学期に 1 回ずつ配置 ・ 多様性、SDG s を扱うユニット「よりよい社会を考える」の配置 ・ 別冊 道徳ノート付属 デジタル化ワークシートへもアクセス可 【内容の配列と分量】 ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成、内容項目はすべて網羅されている。各学年 3 5 教材収録。 ・ 同一教材の取り扱い（4 者以上） 『二通の手紙』（3 年）『一冊のノート』（3 年）『足袋の季節』（2 年）『裏庭での出来事』（1 年）『ネット将棋』（2 年）『六千人の命のビザ 杉原千畝の選択 命のトランジットビザ』（3 年）『卒業文集最後の二行』（3 年）『夜のくだものや』（2 年） ・ 各領域の割合 1 年 自：17.3% 人：16.2% 集：30.3% 生：16.2% 他：16.2% 別：3.8% 2 年 自：13.7% 人：16.8% 集：30.0% 生：21.1% 他：14.7% 別：3.7% 3 年 自：14.9% 人：17.9% 集：35.8% 生：15.9% 他：14.9% 別：3.5% （自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ いじめ問題への対応（1 年 6 教材+3 コラム、2 年 5 教材+2 コラム、3 年 4 教材+2 コラム） ・ 伝統や文化等（1 年 6 教材+1 コラム 2 年 5 教材+3 コラム 3 年 5 教材 1 コラム） ・ 兵庫県地域教材（1 年 2 2 年 2 3 年 0）・防災（1 年 2 2 年 1+1 コラム 3 年 3） ・ 情報（1 年 3+1 コラム 2 年 4+2 コラム 3 年 2+2 コラム） ・ 人権・福祉・キャリア（1 年 13+2 コラム 2 年 15+3 コラム 3 年 14+4 コラム） ・ 問題解決的な学習や体験的な学習：各学年、6 つの教材の後に「学びを深めよう」を付属。「問題解決型な学習」「体験的な学習」などの流れを提示。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	224	発行者名	Gakken
【教科書の特徴】			
・ 大きさ AB 版 縦 257mm（B5 の縦） 横 210mm（A4 の横） ・ ページ数 1 年：180 2 年：184 3 年：188 （各巻末 3 ページは学びの記録） ・ 学習指導要領の内容項目をバランスよく配置 ・ 複数の教材を大きなテーマでつなぐユニット学習を各学年に 3 つずつ配置 ・ 別冊なし、二次元コードを活用したデジタルコンテンツあり ・ いのちの教育を最重点テーマとして設定、レジリエンスに関する教材を各学年に複数配置			
【内容の配列と分量】			
・ 基本的に 1 教材を 1 時間で学習する構成（※ユニット学習あり）、内容項目はすべて網羅 ・ 同一教材の取り扱い 『二通の手紙』（3 年）『一冊のノート』（3 年）『足袋の季節』（2 年）『裏庭での出来事』（1 年）『六千人の命のビザ 杉原千畝の選択 命のトランジットビザ』（3 年）『卒業文集最後の二行』（3 年） ・ 各領域の割合 1 年 自：15.6% 人：17.2% 集：28.3% 生：13.9% 他：25.0% 別：0.0% 2 年 自：17.4% 人：13.6% 集：27.7% 生：17.4% 他：23.9% 別：0.0% 3 年 自：17.6% 人：17.6% 集：28.2% 生：16.0% 他：20.7% 別：0.0% （自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊）			
【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】			
・ いじめ問題への対応（1 年 7 2 年 7 3 年 6） ・ 伝統や文化等（1 年 3 2 年 4 3 年 6） ・ 兵庫県（1 年 2 2 年 2 3 年 1） ・ 防災（1 年 0 2 年 2 3 年 1） ・ 情報（1 年 3 2 年 2 3 年 2） ・ 人権・福祉（1 年 6 2 年 6 3 年 6） ・ 環境（1 年 2 2 年 4 3 年 2） ・ 問題解決的な学習や体験的な学習：ユニット学習で、内容項目が異なる教材で連続して学ぶ。 ・ 「主体的・対話的で深い学び」：教材の後の「深めよう」で、4 つのステップで学習の流れを提示。特設ページ「クルーズアップ」に多面的・多角的な視点を提供。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	232	発行者名	あかつき教育図書
【教科書の特色】 ・ 大きさ B5 版 縦 257mm 横 183mm ・ ページ数 1 年：186 2 年：185 3 年：185 QR コンテンツあり 巻末に学習の記録あり ・ 現代的課題をユニットとして配置 ・ 1 学年に 3 か所多様な学習活動につながる「マイプラス」を配置 ・ 別冊なし 【内容の配列と分量】 ・ 発達や行事などの時期に合わせた配列 ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成、内容項目はすべて網羅されている。各学年 3 5 教材収録。 ・ 同一教材の取り扱い 『二通の手紙』（3 年）『一冊のノート』（2 年）『足袋の季節』（2 年）『裏庭での出来事』（1 年）『夜のくだものや』（1 年）『卒業文集最後の二行』（3 年） ・ 各領域の割合 1 年 自：19.4% 人：17.5% 集：33.6% 生：19.9% 他：9.7% 別：0.0% 2 年 自：21.2% 人：14.9% 集：34.7% 生：19.6% 他：9.7% 別：0.0% 3 年 自：19.2% 人：15.9% 集：35.4% 生：19.7% 他：9.7% 別：0.0% （自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊） 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ いじめ問題への対応（1 年 3 教材+1 コラム、2 年 2 教材、3 年 2 教材） ・ 伝統や文化等（1 年 2 教材 2 年 2 教材 3 年 3 教材） ・ 兵庫県地域教材（1 年 1 2 年 1 3 年 1） ・ 震災・防災（1 年 3 2 年 3 3 年 3） ・ 情報（1 年 3+2 コラム 2 年 2 3 年 2+1 コラム） ・ 人権・福祉（1 年 4 2 年 3 3 年 4） ・ 問題解決的な学習や体験的な学習：「マイプラス」を各学年 3 か所設置し、多様な学習活動を紹介。 ・ 「主体的・対話的で深い学び」：教材の文末に、「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」「自分との対話」の項目にそった発問を設置。思考を深めやすい流れが設定されている。			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	233	発行者名	日本教科書
-------	-----	------	-------

【教科書の特色】

- ・ 大きさ AB 版 縦 257mm（B5 の縦） 横 210mm（A4 の横）
- ・ ページ数 1 年：156 2 年：160 3 年：164 （7 者比較：最小ページ）
- ・ 学習指導要領の内容項目順に配置
- ・ 「考えよう」「深めよう」を設けることにより、教材の読み取りだけに終わらないようにしている
- ・ 「ウェルビーイングカード」の活用
- ・ 別冊なし、二次元コードの活用あり

【内容の配列と分量】

- ・ 1 教材を 1 時間で学習する構成、内容項目はすべて網羅
- ・ 同一教材の取り扱い（4 者以上） 『二通の手紙』（2 年）『一冊のノート』（2 年）
- ・ 各領域の割合

1 年	自：20.5%	人：19.3%	集：32.9%	生：15.5%	他：11.8%
2 年	自：18.9%	人：15.2%	集：39.6%	生：14.6%	他：11.6%
3 年	自：24.3%	人：17.2%	集：36.1%	生：11.2%	他：11.2%

（自：自分自身 人：人との関り 集：集団や社会との関り 生：生命や自然、崇高なものとの関り 他：その他 別：別冊）
- ・ コラムの取り扱い：なし 多様性に関する内容：7 者最小 SDG s に関する内容：7 者最小

【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】

- ・ いじめ問題への対応（1 年 4 2 年 3 3 年 3） ・ 伝統や文化等（1 年 2 2 年 3 3 年 3）
- ・ 兵庫県（1 年 2 2 年 1 3 年 1） ・ 防災（1 年 0 2 年 0 3 年 1）
- ・ 情報（1 年 1 2 年 1 3 年 1） ・ 人権・福祉（1 年 2 2 年 3 3 年 5）
- ・ 環境（1 年 1 2 年 2 3 年 3）
- ・ 問題解決的な学習や体験的な学習：教材の特性に合わせて発問や展開を工夫
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」：教材の文末に「考えよう」「深めよう」の発問を置き、自分の考えを深めていけるようにしている。また多くの発問で「話し合ってみよう」と対話を促している。

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
【教科書の特徴】 ・活動がそれぞれの Unit のラストにまとめられており、場面設定ややりとりの内容、最終目標が明示されていて、活動がしやすいものになっている。 ・絵や写真の使い方が非常に見やすく配列され、かつ、書き込みやメモなどがしやすい。 ・学習の見通しを立てようのページでは、活動目標が明確で文法事項が丁寧にまとめられている。 ・Activity Plus では、見通しを持って学習したり、資料としても活動がしやすくなったりしている。 ・Unit Activity ごとにカナダの生徒の動画を通しての目的・場面・状況の設定がなされ、ゴールの設定がしやすく、パフォーマンステスト等に活用しやすい。 ・活動目標（GOAL）と文法事項が丁寧にまとめてあり、学習の見通しが明確に立てやすい。 【内容の配列と分量】 ・新出単語と小学校の単語が 1 箇所まとめてあり、非常に見やすく提示されている。 ・前学年の学習が Unit0 で復習できるよう構成されている。 ・1 ページあたり 1 時間を基本とし構成されており、時間配分や年間指導計画を把握しやすい。 ・Part 1 と Part2 が見開き 2 ページと精査されて構成されている。また、Read and Think のラウンドが減ることにより、時間に余裕を持って学習を進めることができる。 ・巻末ページには様々な内容が掲載されており、充実している。その中でも、年間で学ぶ key sentence がシンプルでまとまっており、長期休業日の復習としても適している。 ・1 年生後半から round 制が取り入れている構成になっている。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・4 技能 5 領域が段階的に学ぶように構成されている。 ・2 年生では職場体験、3 年生では東日本大震災をテーマにしたものを取り入れている。 ・多様な文化や価値観への気づきを促す「ダイバーシティメモ」を取り入れ、異文化への好奇心や多様性への理解を深めるきっかけづくりになる。			

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版
【教科書の特色】 ・親しみの持てるようなデザインのキャラクターである。 ・各 Program の Scenes の内容がわかりやすいので、スムーズな導入につなげることができる。 ・思考・判断・表現力を伸ばすためのページがあり、自己表現活動を意識した構成になっている。 ・プログラムのとびらページには、各単元でのゴール・こんな表現ができること等が明示されており、見通しをもって学習することができる。 ・Our Project では、グループでの発表やポスター作成など、協働学習による課題解決学習に適している。 ・アルファベットの音読みと名前読みについての説明がわかりやすく提示されている。 【内容の配列と分量】 ・最終ページには文法事項の例が挙げられている。 ・小学校の既習語は巻末にマークをつけ表示されている。また、各ページの欄外にも提示されるようになり、学習しやすくなった。 ・QR コンテンツでは、4つの出題パターンにより新出単語・熟語の定着を図ることができる。 ・アウトプットする量がやや少なく、物足りなさを感じる。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・様々な国を題材に取り上げ、国際理解やSDGsについて考えたり、深めたりすることに適しているが、国内に目を向けた題材がやや少ない。 ・本文終了後に retelling する際には、細かいステップで行うことができるよう工夫されており、どの生徒も安心して取り組むことができるようになっている。 ・1年生と3年生では日本の食育についての内容や来日外国人に向けてのおすすめスポット紹介があるなど、郷土への理解と愛着を深められるよう配慮されている。			

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	1 5	発行者名	三省堂
【教科書の特色】 ・ 文法説明が分かりやすく、英語のしくみの説明も楽しい表記である。 ・ ゲームを通して、小学校で学習した語句や表現を楽しく振り返ることができる。 ・ 巻末資料には、学年に応じたコンパクトな読み物教材があったり、スクリプトが掲載されていたりするなど、深く学びを進めるのに適している。 ・ コーナーの数やイラスト・写真の情報量が多すぎる。 【内容の配列と分量】 ・ 長文の表現は自然な英語が多く、ネイティブがよく使う表現が多く使われている。 ・ デジタルコンテンツは約600本のQRコンテンツや4500語以上の英和辞典と充実しており、文法の解説動画やAIによる発音チェックなど魅力的である。また、英文を1文、もしくはかたまりで聞くことが選択できたり、豊富な資料動画を視聴できたり、生徒ができることが多いことも魅力的である。 ・ 2年生の内容で現在完了を扱ったり、3年生で学習する量が多かったりと、スローラーナーには難しい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ 他教科での学習内容と結びつけることにより、理解を深められるような内容になっている一方、SDGSを意識した構成には弱さを感じる。 ・ 2年生のLesson4で職場体験、3年生のLesson5で将来の生き方や夢、Lesson6で働くことの意義を考える内容が扱われている。 ・ 3年生のLesson2で文化祭の話題があり、生徒の実態とは遠い。			

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版
【教科書の特色】 ・日本の題材が多く、親しみやすい構成になっている。 ・独特な色使いのため、やや目移りすることが心配される。 ・まとめ(文法のページ) がシンプルかつ丁寧に説明されており、子どもたちにとって見やすい。 ・Lesson1 と 2 では漫画風で進めていくが、内容を理解することは難しい。 ・教科書は自己表現活動などの際に書き込みやすい素材にはなっているが、余白スペースが多くありすぎる。 【内容の配列と分量】 ・CANDO 自己チェックリストがシンプルにまとめてあり、見やすく活用しやすい。 ・全学年を通して、構成が統一されており、慣れると使いやすい。 ・3年生での Speech、即興でのやりとり、発表やディベートなどを全ての文法を学習した後に取り上げていることが非常に良いと感じる。 ・1年生にとっては助動詞（should、have to、may）が難解である。 ・WORDLIST では品詞名が強調されすぎており、英単語や意味が見つらい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・二次元コードは本文を聞くのには適しているが、新出単語を確認する際、やや情報量が少ない。 ・2年生での姫路城や職場体験、3年生での働く意義についての内容が取り扱われているが、2年生で扱う時期が遅い。 ・3年生で水原一平氏の記事や、北海道の話題が複数学年で取り扱われているなど、偏りを感じる。			

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
【教科書の特色】 ・ 3年間を貫くストーリーであり、4人の中学生が交流し成長していく物語になっている。 ・ 学校生活や実社会に即した場面や素材が豊富に扱っており、生徒の成長に応じた興味を引き起こす工夫がなされている。 ・ 5領域のバランスや活動の一貫性が考慮されており、文構造や文法等の知識が丁寧に整理されている。 【内容の配列と分量】 ・ ストーリーリテリングを帯活動で行い、自分の言葉で話すことで、即興で話す力を養えるように工夫されている。 ・ 帯教材では実生活で役立つ即興的なやり取りの力を育てるための教材がある。 ・ 巻頭には英語を学ぶ意味や学び方について紹介されている。 ・ Goal のページでは友達や先生と対話をしながら考えを深めることができる。 ・ 小学校での既習英単語が分かりにくい。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・ アウトプットすることをより強く考えられており、リテリングに向かう活動材料が充実している。 ・ 750点以上のデジタルコンテンツが活用することができる。 ・ 音声動画コンテンツにおいて、音声の再生速度を6段階と細かく変更することができるため、自分に合ったスピードで学習することができる。 ・ ジェンダーレス制服や男女の社会的役割を取り扱う内容が含まれている。 ・ 2年Unit5で災害に関する内容がある。職場体験についての取り扱いはないが、3年生Unit5で勤労観を育成する内容が含まれている。			

教科名（ 外国語 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
【教科書の特色】 ・各Unitは3つのセクションで構成されており、学期毎にラウンドシステムに対応することが可能である。 ・即興で話す・伝え合う力を育成するための活動が随所に掲載されている。 ・余白部分にメモを取りやすいスペースが確保されている。 ・QRコンテンツは700以上掲載されており、教科書の基本的な内容を学習するのに適している。 【内容の配列と分量】 ・すっきりとした配列であるが、絵や色使いは他の教科書に比べて単調である。 ・文法事項が内容、量ともにバランスよく各学年に配置されている。 ・3年間を通して日本の伝統文化や異文化理解を扱う題材が多い。 ・単元のまとめページでは、Step1 にモデル文が示されており、スローラーナーにとって進めやすい。 ・文法のまとめページがやや見にくく、練習しづらい。 ・Let's Talk の会話の分量が少ない。 【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】 ・1、2年生では、カナダ、ニュージーランド、イギリス及びアメリカ等、いろいろな外国の題材を取り扱っており、魅力的である。 ・2年生のUnit4では安全防災、2年生のUnit5で職業体験と3年生で夢についての内容がある。 ・大谷選手の所属がエンジェルスのままになっている。兵庫県に関する内容はない			